

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月

事業所名 ヴィストカレッジ金沢駅前

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	2	職員の配置数は適切である	○				・スタッフの急な病欠等の際には協力しながら勤務調整を行ってきたが、今後は余剰人員を確保し、安心して支援を提供できる環境を整えていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				・事業所までは階段を使用する必要がある。階段を上がることが難しい身体障害者の方が利用を検討される場合には、同法人の別事業所を案内できるような体制を整える
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・毎月、管理者と職員の1on1面談を実施し、業務改善のための各自の目標に対する振り返りを行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				・保護者様にLINEの友達登録を更に積極的に勧めていき、気軽に事業所に対する意見をいただける機会を設けていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・週1回程度、障害理解や支援方法についての研修を実施している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・TTAPやBWAP2.K-ABC IIなどを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・主な活動プログラムごとにプロジェクトチームをつくり、企画運営している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・毎月実施している企業様での職場実習では、担当職員が新規企業様開拓を行っており、様々な業界での職場実習の機会を提供できている。 ・毎月職員から新しいプログラムを募集しており、活動内容に反映させている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○				
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○			・十分時間がとれているとは言い難い。スケジュールに打ち合わせ時間を組み込む等工夫が必要である。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				・翌日の朝礼で実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○			記録の書き忘れが時々ある。毎月確認し、漏れがあった場合はすぐに記入している。日々の業務の中で記録をとる時間を確保する必要がある。終業前30分間は、記録をとる時間とし、他のスケジュールを入れないよう職員間で徹底している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○					

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月

事業所名 ヴィストカレッジ金沢駅前

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○				・保護者からのニーズに沿って連携を実施している。連携のメリットを広く利用者さん・保護者様に周知する必要がある。
関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			・医ケア児の受け入れはしていないが、今後勉強をしていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○		・中高生の利用者さんが多いため、就学前に利用していた事業所との連携経験はない。今後、小学校低学年の利用者さんでニーズがある方については、連携していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			・高校3年生は、基本的には自分説明書を作成いただき、移行先と共有している。また、必要に応じて連携会議に参加している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			・地域交流の機会はあるが、回数が少ないため、今後は回数を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○		・自立支援協議会の情報を小まめに収集し
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				ている。外部講師をお招きし、社内で研修を実施する予定がある。 ・ペアレントトレーニングについて、系統立てて行うために年度初めに計画を立てるなどして行いたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○				・保護者会のニーズに対し回数が少ないため、担当職員を配置し、定期的に保護者会を開催していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している		○			・事務所内の整理整頓を習慣化し、スタッフの机上に個人情報が置いたまとなっていることがないように注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月

事業所名 ヴィストカレッジ金沢駅前

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○				
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				・能登地震を受け、今の緊急時対応マニュアルを見直し、改善していく予定である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				・防犯訓練を受け、必要な用具を揃える必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				・調理イベントの際は、フェイスシートのアレルギーチェック欄を必ず確認し、確認したことが分かるような仕組みをつくる。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				